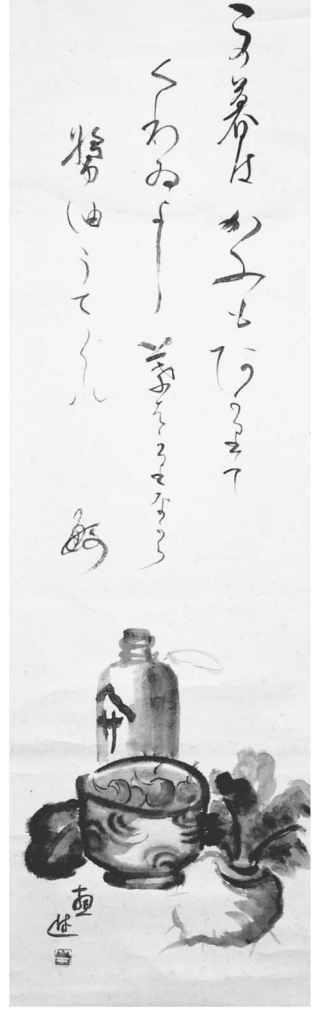




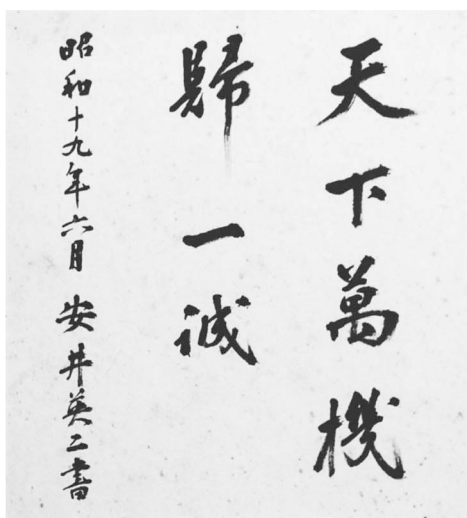
①

東京大学駒場博物館所蔵品展
一高の書画

- ①: 田河水泡 画
 - ②: 杉 敏介 書
 - ③: 菅 虎雄 書
 - ④: 安井英二 書
 - ⑤: 杉 敏介 書
- 山口 進 画



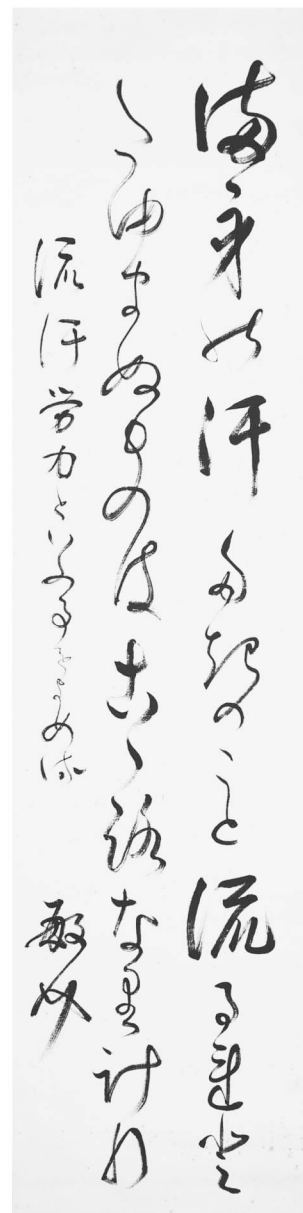
⑤



④



③



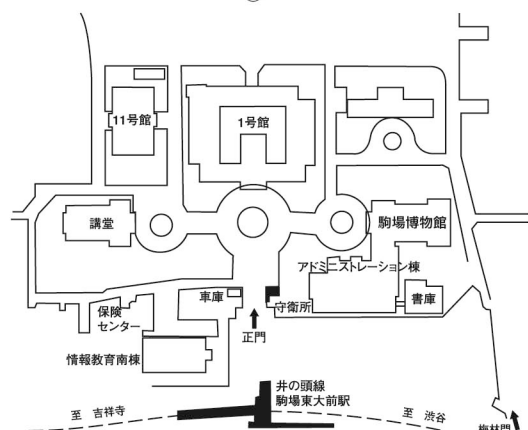
②

日本の高等教育機関として発足した旧制第一高等学校は、多様な才能を開花させる実に豊かな土壌でありました。一高で得た知識をもとに各界で活躍した学生たちと、彼らを愛し、時には厳しく、時には優しく教え諭してきた教師陣との融和が、一高の風土を作ったといっても過言ではないでしょう。

一高は昭和 25 (1950) 年に閉校しましたが、駒場には幾多の資料が残されました。その中から今回は“書画”にスポットを当て、色紙や短冊、掛け軸などをまとめて紹介いたします。

展示品の中には、芥川龍之介や菊池寛を育てた菅虎雄、和辻哲郎や谷崎潤一郎などを育てた杉敏介、一高寮歌として名高い「嗚呼玉杯」を作詞した矢野勘治、ヘボン式ローマ字に対抗して日本式ローマ字を考案した田中館愛橘などの墨書が含まれています。

一高で学び、一高で教えた人々の多彩な顔ぶれと、彼らの才能、そしてユーモアをご堪能下さい。



東京大学 駒場博物館 案内図

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい